

## 青森県復興ビジョン(素案)に寄せられた意見とそれに対する考え方

※いただいた意見については、なるべく原文のまま掲載することとしましたが、個人が特定されるような部分は、同趣旨の語に置き換えました。

また、1つの意見の中で複数の内容に触れている場合は、必要に応じ分割の上、それに対する考え方を付しました。

※いただいた意見の区分については、原案のページ数が明記されているものを除き、事務局で判断し振り分けを行いました。

No.	意見	意見に対する考え方	提出意見の 反映状況
1	<p>2011年3月11日、東京電力(株)福島第1原子力発電所の放射能が広がった事故は、地球、世界に深刻な事件でもある。3月11日、青森県六ヶ所村、むつ小川原港県専用港について、3月13日付新聞報道と私の取材。3月10日から低レベル放射性廃棄物1488本輸送は9.0地震による津波が発生、作業中断した。青栄丸輸送船は、同港から辛くも外海に逃げる。また、国道338号六ヶ所尾駁から同村鷹架間など全面通行止が約1週間。災害は様々ある中でも、むつ小川原港に係留中漁船1隻が不明となっている。</p> <p>むつ小川原専用港、原子力輸送船の放射能防災対策を内容ある万一方策が急務である。防潮壁の厚み、津波の力を「いなす」「すかさず」予算措置、年月期日対策で県民の正面財産を守り安心感を着実にしっかりと誠実さで宜しく願っています。</p> <p>私は、6月23日、船主、原燃輸送(株)に電話交渉で、3月11日青栄丸担当者にむつ小川原港内での航海日誌が記録あるのか。ないと言う。理由は別会社、情報の提供はダメ、青栄丸は生命の上で船はやっと外海に逃げると言う。</p> <p>6月24日、国土交通省八戸海上保安部担当者係長に青栄丸の航海日誌について事業者には法の厳格な運用について適用されるのか、省の運輸局には航海日誌あると言う。因みに3月11日八戸海上保安部担当者はむつ小川原港の対応については、保安部からは、出動船がないと言う。放射能防災対策の上で担当県土整備部港湾空港課には、むつ小川原専用港について考えられる最大政策をしっかりとやってください。</p> <p>また、国からの3月11日青栄丸航海日誌を情報公開開示やってください。</p>	<p>復興ビジョンでは、「IV 創造的復興に向けた視点と中長期的な取組の方向性」-「3 災害に強い地域づくり」-「(4)原子力防災対策の充実・強化」において、青森県原子力防災対策検討委員会や原子力発電所の原子力災害時における避難のあり方検討プロジェクトチームにおける検討結果を踏まえ、県地域防災計画(原子力編)の修正や、下北半島縦貫道路の早期整備を始めとする各種防災対策の充実・強化を推進することとしています。</p>	記述済み